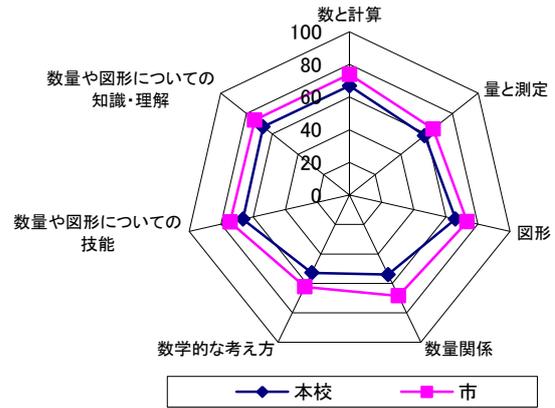


宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	66.9	73.9
	量と測定	58.4	65.0
	図形	66.0	73.2
	数量関係	54.1	68.5
観点別	数学的な考え方	52.8	62.4
	数量や図形についての技能	66.3	74.4
	数量や図形についての知識・理解	67.2	73.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>・平均正答率は、66.9%で、市の平均を7.0ポイント下回っている。小数の計算では、小数二位÷整数、小数第一位÷小数第一位の計算の正答率が低かった。最小公倍数の理解と小数の除法の文章問題を表した図の理解が不十分である。</p>	<p>・除法の計算が十分理解できていないので、第4学年で学習した整数の除法の計算を繰り返し練習し、定着を図っていく。十分に計算の技能が身に付いてから、小数の除法の計算に取り組み、小数点を打つ位置を確認しながら指導していく。また、公倍数など、5年生で初めて学ぶ内容についても正しく理解できるまで繰り返し学習を行い、定着が図れるようにする。</p>
量と測定	<p>・平均正答率は、58.4%で市の平均を6.6ポイント下回った。体積や単位量あたりの大きさの問題では、正答率が低かった。</p>	<p>・単位量あたりの大きさについては、問題文をよく読ませ、文章問題で求められている内容を的確に把握し、基準となる単位当たりの量で比べることができるようにする。5年生でも難しい内容の学習のため、繰り返し問題に取り組ませる。</p>
図形	<p>・正答率70.9%と、市の平均を7.2ポイント下回った。長方形の辺どうしの垂直な関係や四角形の定義や特徴の理解の正答率が低かった。三角形や四角形の内角の和についての理解が不十分である。</p>	<p>・朝の学習やぐんぐんタイムなどの時間に、図形の基本的な性質をもう一度確認する。三角形や四角形の角を実際に切り取り、頂点を1点に集めると180度や360度になることを操作を通して指導し、正しく理解できるようにする。</p>
数量関係	<p>・正答率54.1%と市の平均を14.4ポイント下回った。伴って変わる二つの数量の関係を式に表したり、計算のきまりを小数へ拡張する問題で、正答率が低かった。</p>	<p>・表を実際にかいたり、表から気がついたことを読み取ったりする活動を十分行い、生活の場面と結びつけるなど工夫しながら、定着を図っていく。計算のきまりの理解については、図を用いて分配法則を再度確認し、繰り返し学習することで定着を図る。</p>